

お客様へ

●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	 注意	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
 必ず実施	●点灯異常の際は電源を切る 異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になることがあります。 ●清掃の際は必ず電源を切る 感電・破損の原因になります。	 必ず実施	●定期的に点検する 3年に1回は専門家（工事店・電気店）による点検を実施してください。設置して8～10年*経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。 ※使用条件： 周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。（JIS C8105-1 解説による）
 禁止	●可燃物を近づけたり器具の真下に熱源を置かない 器具を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。 ●破損した器具を使用しない 器具が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。 ●分解や改造はしない 器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。 ●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない 火災や感電の原因になります。	 禁止	●屋内の適正温度（5℃～35℃）で使用する 屋外や高温で使用すると、故障や短寿命の原因になります。 ●光を直視しない 点灯中にランプを直視しないでください。目を痛めることがあります。 ●点灯中・消灯直後に触れない 点灯中や消灯直後は、照明器具が高温になっていることがあるので触れないでください。やけどの原因になります。

LED照明使用上の注意

- 器具の近くで他の機器のリモコン（リモートコントローラ）を操作した場合、誤動作することがあります。器具と他の機器のリモコンを離して使用してください。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤動作したりすることがあります。
- 照明器具の電源は、電子レンジやコピー機などの高ワット製品とは回路を分けて使用してください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
- 表示が発光するスイッチに使用した場合、スイッチの発光部が暗くなったり点灯しなかったりすることがあります。
- 照射距離が近いと、光むらが発生する場合があります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

- 保証期間
保証期間は、お買い上げ日より5年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。
保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。
- 補修用性能部品の保有期間について
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについて
ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

- 保証規定
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
- ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷

②お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷

③火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外電源（電圧・周波数）の使用などによる故障および損傷

④車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷

⑤施工上の不備に起因する故障や不具合

⑥法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

⑦日本国以外での使用による故障および損傷

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

法人向けLED照明
ホームページ

https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/

製品に関するお問い合わせは(通話料無料)

LED照明サポートコール

0800-111-5300

〈受付時間〉平日9:00～18:00、土・日・祝日9:00～12:00／13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは(通話料無料)

0800-111-9300

Webからのお問い合わせは(メールフォームにご記入のうえ送信してください)

https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/

iris ecohilux エコハイルクス

LX ラインルクス シリーズ

(o) ライコネックス

LEDユニット 無線調光LiCONEX 対応

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上の注意	ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
図記号の意味	 注意を促す記号  してはいけない [禁止] 内容  しなければならない [指示] 内容

施工担当者様へ

●工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

必ず実施

- 電源は定格電圧・定格周波数で使用する
本照明器具は日本国内のAC100～242V(電圧変動±6%以内)、周波数50／60Hz専用です。それ以外の電源で使用する、LEDチップの短寿命や火災の原因になります。
- 取り付け及び保守・点検作業の際は必ず電源を切る
通電した状態で取り付け工事などを行うと、感電や照明器具が破損する原因になります。
- 接地（アース）工事を確実に行う
本製品には接地工事が必要です。入力電圧が150V以上300V以下のものはD種（第3種）接地工事を「電気設備技術基準」に準じて行ってください。接地工事が正しくないと、感電や重大事故の原因になります。
- 施工は施工説明にしたがい確実にを行う
施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令にしたがい作業してください。施工が正しくないと、落下・感電・火災の原因になります。
- 照明器具の質量に耐える場所に取り付ける
取り付け部の強度が十分でないと、感電・落下・けがの原因になります。

禁止

- 破損している照明器具を取り付けない
感電・火災・落下・けがの原因になります。
- LEDユニット単独では使用しない
アイリスオーヤマ製LEDベースライト専用器具と、専用LEDユニットの組み合わせ以外では使用しないでください。重大な事故の原因になります。
- 器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
火災や感電の原因になります。
- 粉塵・オイルミスト・引火性ガス・虫が発生する場所には取り付けけない
発熱・発煙・火災の原因になります。
- 可燃物の近くや熱源の真上に取り付けけない
ドアや建具の開閉範囲の近くに取り付けけないでください。被照射物の変形・変色や火災の原因になります。また暖房器具の真上に取り付けると、照明器具が過熱し、火災・感電・落下の原因になります。
- 分解や改造はしない
器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

 注意		誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。	
 必ず実施	●屋内の適正温度（5℃～35℃）で使用する 屋内でも著しい高温で使用するすると、故障や発煙の原因になります。高温で使用するすると、故障や短寿命の原因になります。	 禁止	●振動・衝撃のある場所には取り付けない 落下・破損の原因になります。
	●照明制御システムは「LiCONEX」を使用する アイリスオーヤマ製無線照明制御システム「LiCONEX」を使用してください。他社の照明制御システムと併用しないでください。		●高温の場所、直射日光の当たる場所には取り付けない 器具の劣化・腐食・落下の原因になります。
			●雨水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けない 水滴や湿気により絶縁不良になり、漏電・感電の原因になります。
			●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない 腐食や落下の原因になります。

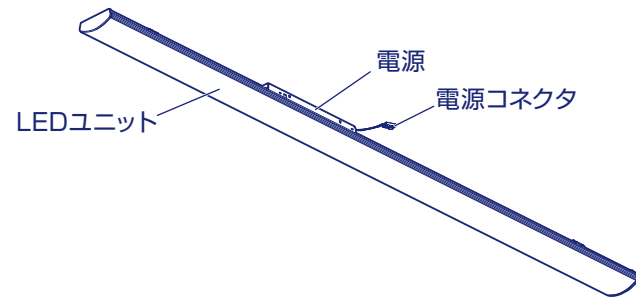
- その他の注意
- 設置や取り扱いについての注意です。
- 硫黄成分がある場所には取り付けないでください。メッキ工場などのように硫黄成分を含むガス・蒸気・液体にさらされるおそれがある場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。
 - 照明器具の電源は、電子レンジやコピー機などの高ワット製品とは回路を分けて使用してください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
 - 点灯スイッチは、必ず非接地側（電圧側）に取り付けてください。接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。（接地極のない電源では両切りスイッチを使用してください。）
 - 調光器（ライトコントロール）は使用できません。故障や短寿命の原因になります。
 - 器具は水平天井以外には取り付けないでください。傾斜天井、壁などには取り付けできません。発熱により寿命が短くなったり落下したりする原因になります。
 - 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像にしま模様やちらつきが見える場合があります。

各部の名称／寸法図

- 説明図は形状の一部を省略しています。
- 部品が不足している場合は、お買い上げ店またはLED 照明サポートコールまでご連絡ください。

各部の名称

- 110形はLEDユニットを2灯使用します。

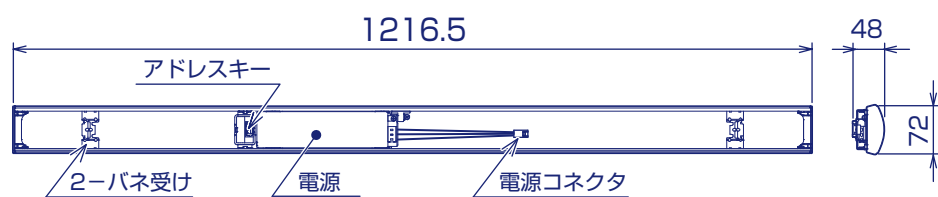


製品寸法・外観・名称

- LEDユニットの仕様については仕様一覧でご確認ください。

(背面図：取り付け面側)

単位：mm



仕様一覧表はこちら
<https://www.irisohyama.co.jp/data/manual2/41012188.pdf>



器具への取り付けかた

- 部品は正確に取り付けてください。
- 器具本体の施工方法については、器具本体同梱の取扱説明書をご参照ください。

1 分電盤ブレーカー及び電源スイッチを切り電源を遮断する

使用する配線器具の電源を必ず遮断してください。



注意

電源を遮断しないで作業をすると、感電のおそれがあります。

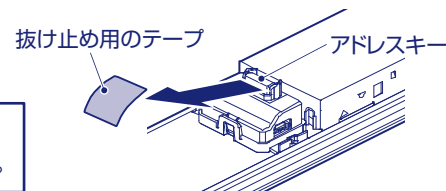
2 アドレスキー抜け止め用のテープをはがす

※抜け止め用のテープは輸送時のはずれを予防するためのものです。



注意

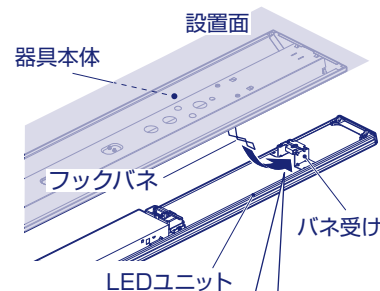
アドレスキーを抜かないでください。
アドレスキーが抜けかけた場合、軽く押し込んでください。



3 LEDユニットにフックバネを取り付ける

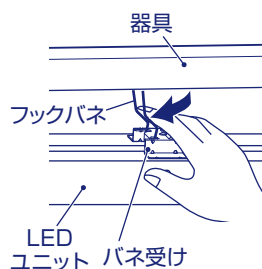
※直付型器具への取り付け例

- ① 器具側フックバネの一方を、LEDユニットのバネ受けの折り返しに取り付けてください。

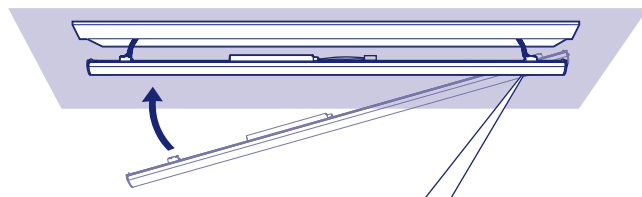


- 40形は2か所
- 110形は2か所×2灯

フックバネを起し、バネ受けの折り返しに取り付けてください。片側ずつ確実に行ってください。



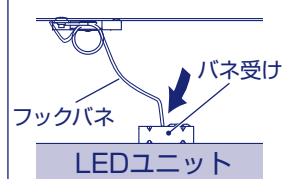
- ② 片側のフックバネが<詳細図>位置であることを確認し、もう一方のフックバネも同様に取り付けてください。



警告

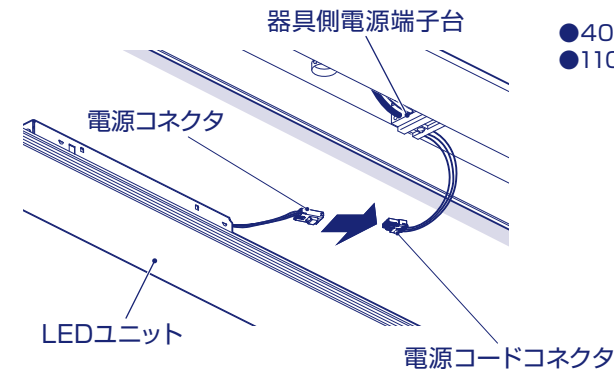
フックバネの位置が正しくないと、落下して重大なけがが発生する原因になります。

<詳細図>



4 器具側のコネクタに接続する

LEDユニットの電源コネクタを、器具側の電源コードコネクタに接続してください。



- 40形は1か所
- 110形は1か所×2灯

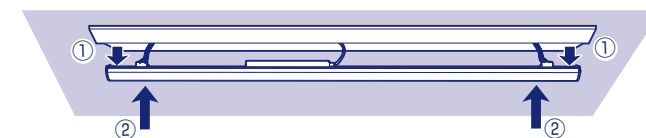


警告

コネクタは奥まで確実に差し込んでください。接続がゆるいと、不点灯や発熱・火災の原因になります。

5 LEDユニットを器具内部へ押し上げる

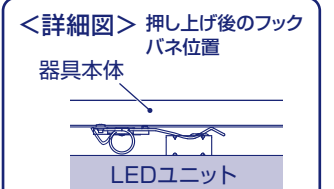
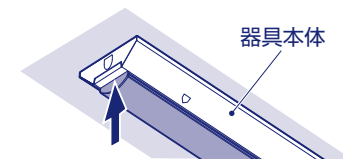
- ① LEDユニットをかるく下へ引き、フックバネが外れていないこと、並びにLEDユニットが水平であることを確認してください。
② LEDユニットを器具と平行に、まっすぐ押し上げてください。



警告

フックバネの位置が正しくないと、LEDユニットを水平に取り付けできません。また落下して重大なけがの原因になります

- ③ LEDユニットの両端が、器具内に確実に入っていることを確認してください。端部が合っていないときは、LEDユニットを引き下げて、再度作業してください。

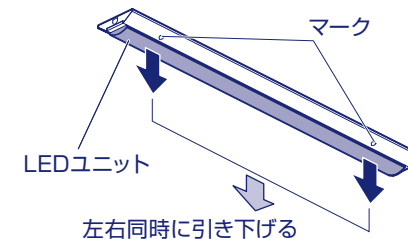


LEDユニットの取り外しかた

- 取り外しはゆっくり確実に行ってください。

- ① 器具側マーク付近のLEDユニットをつかみ、左右同時に引き下げてください。
② [電源コネクタ]→[フックバネ]の順番で取り外してください。

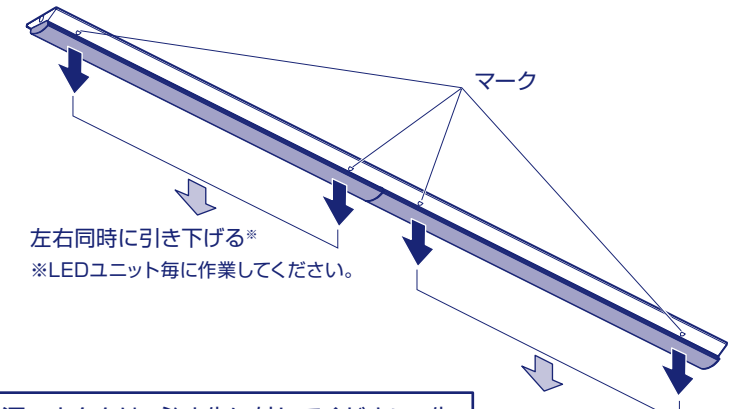
40形



左右同時に引き下げる

110形

110形は1灯ずつ取り外してください。



左右同時に引き下げる*

※LEDユニット毎に作業してください。



注意

電源コネクタは、必ず先に外してください。先にフックバネを外すと、電源コネクタが引っ張られて破損したり、LEDユニットが落下して破損やけがをしたりするおそれがあります。